

加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、加古川市地域生活支援事業に関する要綱（平成18年9月26日福祉部長決定）第3条第1項第6号の意思疎通支援事業として、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第4条に規定する身体障害者又は児童福祉法（昭和22年法律第164号）第4条第2項に規定する障害児であつて、聴覚又は音声若しくは言語機能に障害がある者（以下「聴覚障害者等」という。）が、円滑な意思の疎通を図るうえで支障がある場合に、要約筆記者を派遣し、コミュニケーションの伝達手段を確保することにより、聴覚障害者等の自立と社会参加の促進に資することを目的とする。

(事業の委託)

第2条 市長は、この事業の一部又は全部を市長が適当と認める団体に委託することができる。

(派遣対象者)

第3条 要約筆記者の派遣対象者は、本市に居住し、要約筆記によって円滑な意思の疎通を図ることができる聴覚障害者等又は本市に主たる事務所を有し、障害者又はその家族で構成する障害者団体（以下「派遣対象障害者団体」という。）とする。

(派遣対象者の登録)

第4条 聴覚障害者等は、要約筆記者の派遣を受けるときは、あらかじめ要約筆記者派遣登録を受けるものとする。

2 前項の要約筆記者派遣登録を受けようとする聴覚障害者等は、加古川市要約筆記者派遣対象者登録申込書（様式第1号）を市長に提出するものとする。

3 市長は、第1項の登録をしたときは、当該聴覚障害者等にその旨を通知するものとする。

(派遣対象事由)

第5条 要約筆記者の派遣は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

(1) 前条第3項の規定により登録された聴覚障害者等（以下「派遣対象聴覚障害者

等」という。)が、各種届出又は相談等のため、官公庁、学校等の公的機関へ赴く場合

(2) 派遣対象聴覚障害者等が、病気、出産、健康管理等のために、医療機関へ赴く場合

(3) 派遣対象聴覚障害者等の権利又は義務に関わる重要な用件の場合

(4) 派遣対象障害者団体の総会又は理事会その他当該団体の運営に関する会議に要約筆記によって円滑な意思の疎通を図ることができる聴覚障害者等が出席する場合

(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認めた場合

(派遣区域)

第6条 第8条第2項の規定により登録した要約筆記者の派遣区域は、加古川市内とする。ただし、要約筆記者の同意を得た場合は、本市に隣接する市町に派遣することができる。

(派遣時間)

第7条 要約筆記者を派遣できる時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、市長が必要と認めた場合は、この限りでない。

(要約筆記者の登録)

第8条 加古川市要約筆記者（以下「登録要約筆記者」という。）として登録を受けようとする者は、加古川市要約筆記者登録申込書（様式第2号）に、全国統一要約筆記者認定試験に合格したことが分かる書類を添えて、市長に提出するものとする。

2 市長は、前項の規定による申込みがあったときは、その内容を確認し、登録要約筆記者として登録するものとする。

3 市長は、前項の登録をしたときは、第1項の規定による申込みをした要約筆記者にその旨を通知するものとする。

4 市長は、次に掲げるときは、第2項の登録を取り消すことができる。

(1) 虚偽の申込みがあったと認められるとき。

(2) 登録要約筆記者が、第1項の規定に該当しなくなったとき。

(3) 登録要約筆記者として活動する意思がないと認められるとき。

5 第2項の規定にかかわらず、ひょうご通訳センターその他要約筆記者の派遣を行っている団体に登録されている要約筆記者は、登録要約筆記者とみなす。

(派遣の申請)

第9条 登録要約筆記者の派遣を受けようとする派遣対象聴覚障害者等又は派遣対象障害者団体（以下「派遣申請者」という。）は、希望する日の7日（加古川市の休日定める条例（平成2年条例第1号）第2条の休日を除く。）前までに、加古川市要約筆記者派遣申請書（様式第3号）を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めたときは、この限りでない。

(登録要約筆記者の派遣)

第10条 市長は、前条の規定による申請があったときは、その内容を審査し、派遣の可否を加古川市要約筆記者派遣決定／却下通知書（様式第4号）により、派遣申請者に通知するものとする。

2 市長は、前項の規定により派遣を決定したときは、派遣可能な登録要約筆記者を手配し、要約筆記依頼書（様式第5号）により、当該登録要約筆記者に依頼するものとする。

3 市長は、急病、事故その他の救急車の出動を伴う緊急時においては、前2項に規定する手続を経ることなく、登録要約筆記者を派遣することができる。

4 市長は、必要があると認めるときは、ひょうご通訳センターに登録要約筆記者の派遣を依頼することができる。

5 市長は、派遣先が遠隔地である等の理由により必要があると認めるときは、他の市町村に登録通訳者の派遣を依頼することができる。

(業務報告)

第11条 前条の規定により派遣された登録要約筆記者は、業務終了後、速やかに加古川市要約筆記者派遣業務報告書（様式第6号）を市長に提出しなければならない。

(要約筆記者登録証)

第12条 市長は、登録要約筆記者に加古川市要約筆記者登録証（様式第7号。以下「登録証」という。）を交付するものとする。ただし、第8条第5項の登録要約筆記者に対しては、交付を省略することができる。

- 2 登録要約筆記者は、その業務を行うときは、常に登録証を携帯し、提示を求められたときは、これを提示しなければならない。
- 3 登録要約筆記者は、登録証の記載内容に変更があるとき又は登録証を紛失したときは、速やかに市長に届け出なければならない。
- 4 登録要約筆記者は、登録の取消の決定を受けたときは、登録証を市長に返還しなければならない。

(登録要約筆記者の責務)

第13条 登録要約筆記者は、常に技術と知識の向上に努めなければならない。

- 2 登録要約筆記者は、業務上知りえた秘密を漏らしてはならない。登録要約筆記者を辞した後も、また、同様とする。

(費用負担)

第14条 登録要約筆記者の派遣に要する経費は加古川市の負担とする。ただし、待ち合わせ場所から業務を終えるまでの登録要約筆記者の移動に要する費用は、当該派遣の決定を受けた派遣申請者の負担とする。

(報償金)

第15条 市長は、第10条の規定により登録要約筆記者を派遣したときは、別表に定める報償金を当該登録要約筆記者に支払うものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、第10条第5項に規定する派遣に係る費用等の支払額は、派遣を依頼した他の市町村等の規定に基づく額とする。

(頸肩腕障害に関する健康診断)

第16条 市長は、登録要約筆記者の健康保持を図り、もってこの事業全体の健全な運営を確保するため、登録要約筆記者（第8条第5項の登録要約筆記者は除く。）に頸肩腕障害に関する健康診断を受けさせるよう努めるものとする。

(補則)

第17条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(全部改正による経過措置)

2 この要綱の施行の日前にこの要綱による改正前の加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱第 11 条第 1 項の規定による登録を受けていた者については、この要綱による改正後の加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱第 8 条第 2 項の規定による登録を受けた者とみなす。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の日前の登録要約筆記者の派遣については、なお従前の例による。

附 則

この要綱は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

別表（第 15 条関係）

要約筆記者の報償金

時間帯	単価
午前 5 時から午後 10 時まで	1 時間あたり 2,000 円
午後 10 時から翌日午前 5 時まで	上記金額に 1 時間あたり 500 円加算
<p>派遣業務に従事した時間に 30 分未満の端数が生じたときはこれを切り捨て、30 分以上の端数が生じたときは 1 時間として処理する。</p> <p>要約筆記者が自己のパーソナルコンピュータを使用し要約筆記を行うときは、1 件の派遣につき 500 円を加算するものとする。</p>	

様式第1号（第4条関係）

（表面）

加古川市要約筆記者派遣対象者登録申込書
 （兼 緊急通報登録申請書）

年 月 日

加古川市長 様

申込者 氏名 _____
 （本人） 住所 _____

 連絡先 _____

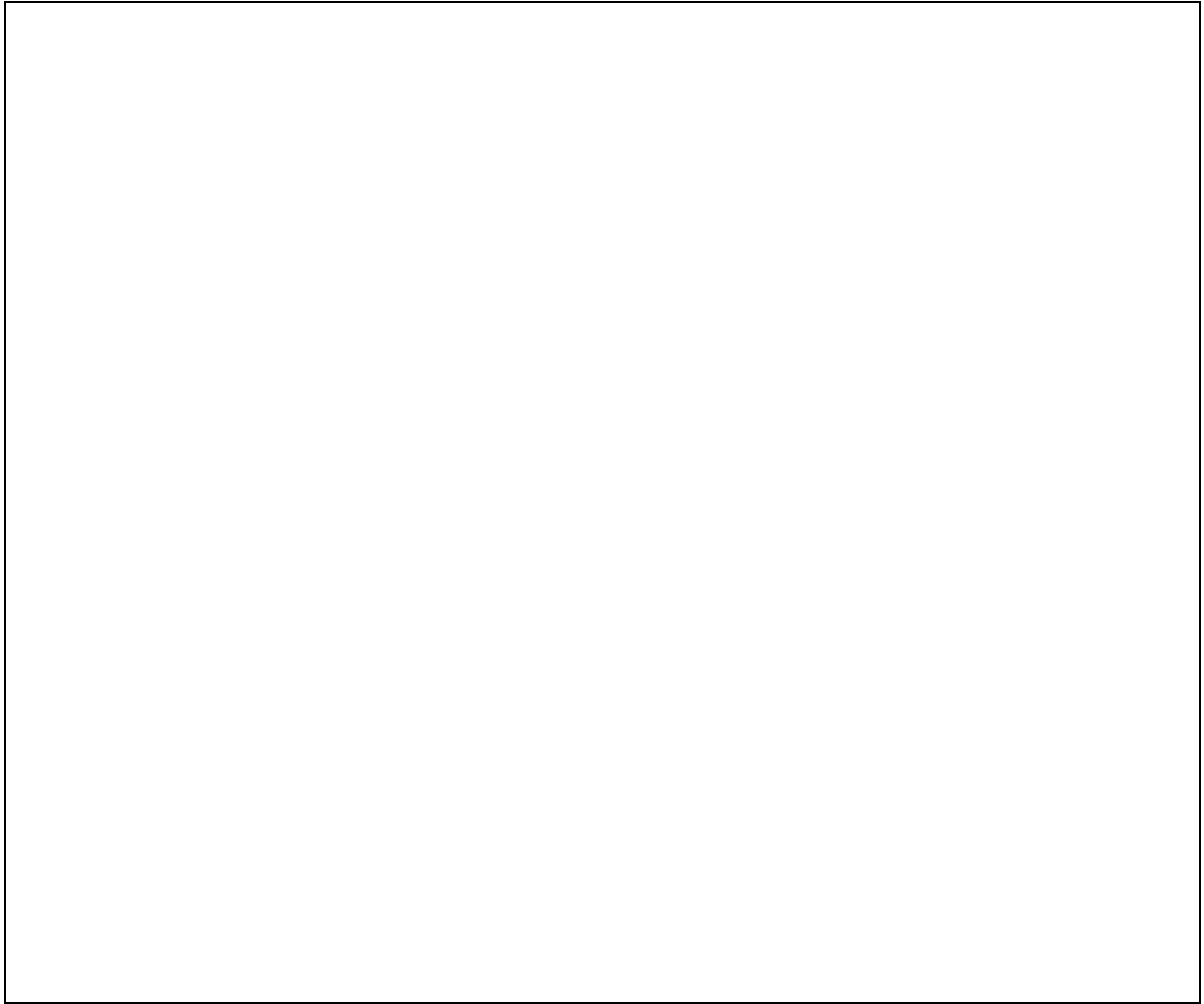
要約筆記者の派遣を受けたいので、加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱第4条の規定により、次のとおり登録を申し込みます。

なお、申込みにあたり、市が私の住民基本台帳及び身体障害者手帳に関する資料を調査することに同意します。

対 象	ふりがな			生年		
	氏名			月日		
象	住所	加古川市				
		〔方書〕 電話・FAX () -				
者	手帳内容					
		(障害名)				
家 族 の 状 況	氏名	続柄	年齢	職業	介護状況・装具使用の状況	
緊 急 連 絡 先	氏名			続柄		
	住所	〔方書〕 電話・FAX () -				
緊 急 通 報						

(裏面)

(自宅付近の略図)



(備 考)

【注意事項】

※当該申込内容に変更が生じたときは、速やかにご連絡ください。

事業の対象にならなくなった場合は、市で登録を抹消する場合があります。

様式第2号（第8条関係）

加古川市要約筆記者登録申込書

年 月 日

加古川市長 様

申込者 氏名 _____

(本人) 住所 _____

加古川市要約筆記者の登録を受けたいので、加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱第8条の規定により、次のとおり登録を申し込みます。

ふりがな			生 年 月 日	
氏 名			職 業	
住 所				
電 話 番 号 (携帯番号)	()	F A X 番 号		
連 絡 方 法	健 康 状 態			
資 格 ・ 略 歴 等				
備 考				

様式第3号（第9条関係）

加古川市要約筆記者派遣申請書

年 月 日

加古川市長 様

申請者 住所 _____

氏名 _____

連絡先 _____

加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱第9条の規定により、次のとおり要約筆記者の派遣を申請します。

派遣日時		
派遣場所 （具体的に）		
内容		
待ち合わせ	場所（詳細）	
	時間	
備考		

様式第4号（第10条関係）

加古川市要約筆記者派遣
決定
却下
通知書

年 月 日

様

加古川市長

先に申請のあった手話通訳者の派遣について、

- 1 下記のとおり派遣します。
- 2 却下します。

〔理由： 〕

記

申請者		筆要 記者約	
派遣日時			
派遣場所			
待合せ場所		待合せ時間	
内容			
備考			

要約筆記依頼書

年 月 日

様

加古川市長

下記のとおり、要約筆記を依頼します。

記

申請者	氏名		
	FAX・電話		
派遣日時			
派遣場所			
待合せ場所		待合せ時間	
内容			
備考			

様式第6号（第11条関係）

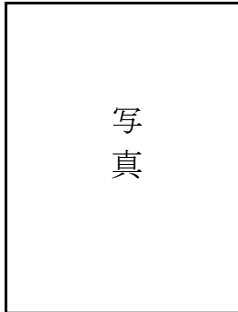
加古川市要約筆記者派遣業務報告書

年 月 日

派遣申請者氏名		要約筆記者氏名			
業務実施日					
活動時間					
業務実施場所					
交通手段					
業務内容					
(所感・その他)					
(備考)		処	計上時間数	分類	入力
		理	時間		

（表面）

加古川市要約筆記者登録証



氏 名

生年月日 年 月 日

上記の者は本市要約筆記者として登録があることを証明する

年 月 日交付
加古川市長



（裏面）

加古川市要約筆記者派遣事業実施要綱（抄）

（要約筆記者登録証）

第12条 市長は、登録要約筆記者に加古川市要約筆記者登録証（様式第7号。以下「登録証」という。）を交付するものとする。ただし、第8条第5項の登録要約筆記者に対しては、交付を省略することができる。

2 登録要約筆記者は、その業務を行うときは、常に登録証を携帯し、提示を求められたときは、これを提示しなければならない。

3 登録要約筆記者は、登録証の記載内容に変更があるとき又は登録証を紛失したときは、速やかに市長に届け出なければならない。

4 登録要約筆記者は、登録の取消の決定を受けたときは、登録証を市長に返還しなければならない。

（登録要約筆記者の責務）

第13条 登録要約筆記者は、常に技術と知識の向上に努めなければならない。

2 登録要約筆記者は、業務上知りえた秘密を漏らしてはならない。登録要約筆記者を辞した後も、また、同様とする。